

温泉【掘削】許可申請添付書類一覧表

(申請者：)

番号	添付書類	チェック欄
1	温泉利用の目的を具体的に示した事業計画書	
2	掘削地付近の1万分の1の地図 ※掘削地点を朱書するとともに、付近に他の温泉ゆう出地がある場合は、それとの距離を朱書すること。 記載方法は半径300mの円及び半径300m以内の源泉所有者名・距離を朱書することとし、付近に源泉数が多い場合は、2千5百分の1の地図を添付すること。	
	測量士が作成した掘削地の測量図 (測量士が作成し、押印した正本) ※掘削地点を朱書すること	
3	掘削地点を明示した写真	
4	掘削地の登記事項証明書	
5	温泉法第3条第2項に規定する権利を有することを証する書類 ※掘削地が他の所有に属する場合にあっては、掘削に必要な土地を掘削のために使用する権利を有することを証する書類 *土地賃貸借(使用)契約書の写し	
6	申請者が温泉法第4条第1項第4号から第6号までに該当しない者であることを誓約する書(誓約書)	
7	設備の配置図及び主要な設備の構造図	
8	掘削のための施設の位置、構造及び設備並びに掘削の方法が温泉法施行規則第1条の2各号に掲げる基準に適合することを証する書類	
9	温泉法施行規則第1条の2第10号に規定する掘削時災害防止規程	
10	その他知事が必要と認める書類	
	① 定款、寄付行為及び法人登記簿謄本(法人の場合)	
	② 事業計画書に係るその詳細を示す施設の配置図及び平面図	
	③ 法務局発行の地図若しくは地図に準ずる図面上に掘削地点を朱書きしたもの	
	④ 省令第1条の2第1項第1号括弧書きにある「可燃性天然ガスの噴出のおそれがある場合」に該当しない旨の申立書	
	⑤ 掘削の詳細を示す断面図	
	⑥ 替掘りの場合は、替掘り理由書及び廃孔誓約書	
	⑦ 申請地点を中心とし、原則として半径300m以内の源泉所有者の同意書	
	⑧ 他法令(都市計画法、自然公園法、農地法、農振法、河川法、森林法、砂防法、地すべり等防止法、土砂災害防止法等)の規制が解除されていることを証する書類	

○ 2部作成・提出してください。

○ 添付書類は番号順に並べ、その番号と同じ数字を記入したインデックスラベルを貼付してください。

温泉【増掘】許可申請添付書類一覧表

(申請者：)

番号	添付書類	チェック欄
1	温泉利用の目的を具体的に示した事業計画書	
2	増掘の場所付近の1万分の1の地図 ※増掘の場所を朱書するとともに、付近に他の温泉ゆう出地がある場合は、それとの距離を朱書すること。 記載方法は半径300mの円及び半径300m以内の源泉所有者名・距離を朱書することとし、付近に源泉数が多い場合は、2千5百分の1の地図を添付すること。 測量士が作成した掘削地の測量図 (測量士が作成し、押印した正本) ※掘削地点を朱書すること	
3	増掘の場所を明示した写真	
4	増掘の詳細を示す平面図及び断面図	
5	申請者が温泉法第4条第1項第4号から第6号までに該当しない者であることを誓約する書（誓約書）	
6	設備の配置図及び主要な設備の構造図	
7	増掘のための施設の位置、構造及び設備並びに掘削の方法が温泉法施行規則第1条の2各号に掲げる基準に適合することを証する書類	
8	温泉法施行規則第1条の2第10号に規定する掘削時災害防止規程	
9	その他知事が必要と認める書類	
	① 定款、寄付行為及び法人登記簿謄本(法人の場合)	
	② 事業計画書に係るその詳細を示す施設の配置図及び平面図	
	③ 法務局発行の地図若しくは地図に準ずる図面上に掘削地点を朱書きしたもの	
	④ 省令第1条の2第1項第1号括弧書きにある「可燃性天然ガスの噴出のおそれがある場合」に該当しない旨の申立書	
	⑤ 増掘の理由書	
	⑥ 増掘の場所の登記事項証明書	
	⑦ 増掘の場所が他の所有に属する場合にあつては、掘削に必要な土地を掘削のために使用する権利を有することを証する書類 *土地賃貸借（使用）契約書の写し	
	⑧ 申請地点を中心とし、原則として半径300m以内の源泉所有者の同意書	
	⑨ 他法令(都市計画法、自然公園法、農地法、農振法、河川法、森林法、砂防法、地すべり等防止法、土砂災害防止法等)の規制が解除されていることを証する書類	

○ 2部作成・提出してください。

○ 添付書類は番号順に並べ、その番号と同じ数字を記入したインデックスラベルを貼付してください。

温泉【動力装置】許可申請添付書類一覧表

(申請者：)

番号	添付書類	チェック欄
1	温泉利用の目的を具体的に示した事業計画書	
2	動力の装置の場所付近の1万分の1の地図 ※動力の装置の場所を朱書するとともに、付近に他の温泉ゆう出地がある場合は、それとの距離を朱書すること。 記載方法は半径300mの円及び半径300m以内の源泉所有者名・距離を朱書することとし、付近に源泉数が多い場合は、2千5百分の1の地図を添付すること。 測量士が作成した掘削地の測量図 (測量士が作成し、押印した正本) ※掘削地点を朱書すること	
3	動力の装置の場所を明示した写真	
4	動力の装置の詳細を示す平面図及び断面図	
5	申請者が温泉法第4条第1項第4号から第6号までに該当しない者であることを誓約する書（誓約書）	
6	その他知事が必要と認める書類	
	① 定款、寄付行為及び法人登記簿謄本(法人の場合)	
	② 事業計画書に係るその詳細を示す施設の配置図及び平面図	
	③ 事業計画書に係る建築確認通知書の写し	
	④ 浴槽の容積がわかる図面	
	⑤ 試験揚湯（段階揚湯試験、連続揚湯試験、水位回復試験）の結果及び段階揚湯試験の水位変化グラフ（Q-Swグラフ）	
	⑥ 全揚程計算書	
	⑦ 動力装置の性能曲線図及び選定図	
	⑧ 揚湯量の管理に係る誓約書	
	⑨ 申請地点を中心とし、原則として半径300m以内の源泉所有者の同意書	

○ 2部作成・提出してください。

○ 添付書類は番号順に並べ、その番号と同じ数字を記入したインデックスラベルを貼付してください。

(申請者：)

- 地熱利用の温泉掘削申請を行う場合は、「温泉【掘削】許可申請添付書類一覧表」の書類に加え、上記書類を添付してください。
- 2部作成・提出してください。
- 添付書類は番号順に並べ、その番号と同じ数字を記入したインデックスラベルを貼付してください
- 全体計画を提出する場合には、別紙確認表にて記載内容に不足がないことを追加確認し、当該確認表を添付してください。

全体計画記載内容確認表

(申請者:)

	番号	記 載 内 容	☒	備考
初 回 提 出 時	1	事業の目的及び内容について		
		(1) 地熱開発事業の目的について記載しているか。		
		(2) 事業計画について地熱利用にかかる温泉掘削許可に関する手引き別表(以下「別表」という。) 1 (2) に示された項目をそれぞれ記載しているか。		
		(3) 事業実施想定区域の位置、範囲及び選定の理由について、事前調査等科学的根拠に基づいた理由を記載しているか。		
	2	事業実施想定区域に関する情報について		
		周辺 5 km (及び 5 km を超える影響が予測される範囲) の温泉地・他の事業者の地熱井の配置状況等を記載しているか。		
	3	科学的根拠に基づいた調査・予測及び評価の手法について		
		(1) 科学的根拠に基づき、地熱貯留層の存在範囲と温泉帯水層との関係を明確化しているか。		
		① 周辺 5 km (及び 5 km を超える影響が予測される範囲) での影響を受けやすい泉質の温泉の配置状況を記載しているか。また、その泉質の温泉を調査し明らかになったことを記載しているか。		
		② 既存の温泉分析書・論文等(既存の資料で既に分かること)、各種探査による地表調査、周辺調査等(新しく調査して分かったこと)で得られたデータを活用し、開発対象とする地熱貯留層の平面・深さ方向の広がり、熱水系の構造(キャップロック構造の有無、熱源及び熱水・蒸気の涵養源など)を推測し、周辺 5 km (及び 5 km を超える影響が予測される範囲) の既存温泉や既存地熱井と開発対象とする地熱貯留層との位置関係、関係性の評価、及び影響について予測し評価しているか。また、その予測に関しては、別表「手法について (3 (1) 関係)」に基づいて記載しているか。		
		③ 今回の掘削で取得が期待できるデータについて、別表「手法について (3 (1) 関係)」に基づいて記載しているか。その他、考えられる調査で取得が期待できるデータについて、別表「手法について (3 (1) 関係)」に基づいて記載しているか。		
		(2) 当該地熱貯留層において計画されている本数の温泉掘削は、離隔距離や源泉数を制限しなくとも周辺への影響が生じないか検証を行っているか。		
		① 既存の温泉分析書・論文等(既存の資料で既に分かること)、各種探査による地表調査、周辺調査等(新しく調査して分かったこと)で得られたデータを活用し、地熱貯留層のポテンシャルや計画する本数の温泉掘削では離隔距離や源泉数を制限しなくとも周辺への影響が生じないか予測しているか。また、その予測に関して、別表「手法について 3 (2) 関係)」に基づいて記載しているか。		
② 今回の掘削で取得が期待できるデータについて、別表「手法について 3 (2) 関係)」に基づいて記載しているか。その他、考えられる調査で取得が期待できるデータについて、別表「手法について 3 (2) 関係)」に基づいて記載しているか。				
4	科学的根拠に基づいたシミュレーションについて			
	3 (1) (2) を踏まえ、地熱構造モデルを作成し、科学的に地熱貯留層(範囲、熱水利用量)について推定しているか。			

○ 2 部作成・提出してください。

○ 全体計画は、当該確認表にある番号と同じ番号を用いて構成してください。

全体計画記載内容確認表

(申請者：)

	番号	記 載 内 容	☒	備考
2 回 目 以 降 提 出 時	1	予測に対する評価と計画の修正について		
		初回提出時以降の掘削終了後に得られたデータやモニタリング結果を用い、掘削前に行った予測に対しての評価を行い、計画の修正を行っているか。（得られたデータが想定通りのものであったか、想定と違っていた点は何かを記載しているか。）		
		掘削によって得られたデータを使い、地熱流体モデルや数値シミュレーションモデルを作成しているか。		
		予測と異なる結果となったものに関しては原因分析を行っているか。		
		2回目以降提出時の掘削によって、どのような新しいデータを得ることができるか。また、そのデータを使いどのように評価を行うのかについて記載しているか。		

- 2部作成・提出してください。
- 全体計画は、当該確認表にある番号と同じ番号を用いて構成してください。